

令和7年度



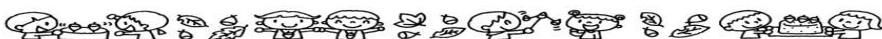
11月



大和高田市立土庫こども園

朝晩冷え込むようになり、鮮やかな緑色に包まれていた木々も少しずつ色づいて、深まりゆく秋を感じるようになってきました。木々の葉が赤や黄色に色づく秋は、自然とのふれあいを楽しむのに絶好の季節！秋の自然の変化に目を向けたり、自然物を使って遊んだりして存分に楽しみたいと思います。

冷え込みから体調を崩しやすい時期ともなりますので、引き続き手洗いを丁寧にうるとともに、十分な食事や睡眠、規則正しい生活を心がけて元気に過ごせるようにしましょう。



あるひのできごと・・・

「クラスの中でケンカが少なく・・・」先日の職員会議、ある担任教諭からこんな悩みが。（※この時のケンカ、とは年齢相応の意見の言い合いや主張のこと）「えー?!ケンカしてほしいの??なんで??」多くの職員が疑問に思いながら続きの話を聞くと・・・「遊びを進める中で意見の違いがあっても話合ったり、時には我慢したりしてうまく友達同士で解決していくことが多くて」と。（いいことやん、それ理想なんだけど・・・）「夏の間に他のクラス（異年齢も含め）と関わりをもったときに、自分の意見をどんどん主張する園児に圧倒されたり、話し合いをしても平行線で、なかなか解決に辿りつけない経験をしたりしていた子ども達の姿を目の当たりにしてすごい新鮮だった」こんなことを感じたようです。

先日目にした記事に、ケンカをする能力というのは実は重要なコミュニケーション力である、とありました。日常よく起こることの中に、玩具の取り合いがあります。ケンカが起こるのは「これで遊びたい!!」という自己主張がしっかりできてから起こること、気持ちを主張できたことを認めてあげることが大切、とあります。小さなケンカを繰り返すうち、子どもは自分の欲求を抑制したり、「ありがとう」と言われ嬉しかった経験から譲る気持ちを知り我慢することを学ぶ。すぐに手を出していたケンカが口ゲンカとなり、さらにケンカという方法では自己主張が通らないことを知り、問題解決には話し合いが大切だということ学習していくのです。ケンカが起こるとついすぐ止めがちになりますが、事情も聞かず、むやみやたらに子どものケンカを止めてばかりいると、子どもは大人の前でだけいい子を演じ、陰では違う姿を見せることもある、とのこと。手を出しそうになったときは止めることが必要ですが、ケンカの中での大切なコミュニケーションを見守っていくことも大切だと感じました。

悩みを出したクラスの園児たちは、ケンカの中での学びの力をしっかりと身に付け成長しているのですね。

12月の行事予定

16日（火）クリスマスコンサート

（3・4・5歳児）

（※12日（金）はコンサートの写真撮影です。）

19日（金）ALT

22日（月）クリスマス会・教育認定児給食終了

23日（火）2学期終業式



本園の教育目標

「心がおどる・かんじる・つながる」
くめざす子ども像>

◎心身ともにすこやかな子

◎元気でいきいきした子

◎よく考え、やりぬこうとする子

◎思いやりのある子



こどもたちのつばやき 紹介します♪



ありがとうございました!!

先日の運動会にはたくさんの方にご来園いただき、大きな拍手や声援、温かな眼差しを本当にありがとうございました。学年ごとに行っていた運動会、今年は全学年ごとに行ったことで、観覧場所や時間等、御不便もあったことと思いますが、保護者の皆様にはたくさんの御理解と御協力いただき、大変感謝しております。お子様の学年だけではなく、他の学年の競技や表現にも拍手や声援をいただく姿に、全学年での開催の喜びを感じました。本当にありがとうございました!!